

北見赤十字病院 がんサロン ほほえみ

ほほえみ通信 Vol 180

2025/1/29
発行

第180回 ほほえみ 開催

1月15日（水）第180回 ほほえみを開催しました。今回は3名の方に参加して頂きました。

参加に際しましては、感染予防対策のためマスクの着用と手指消毒のお願いをさせていただきますので、ご協力をお願い致します。

次回のほほえみは、2/19（水）14時から16時まで

本館3階 特別会議室での開催となりますのでご参加下さい。

【がんサロン事務局より】

『がんサロンは、心の診療所』

（がん体験記）

このがんサロンが始まったのは2009年2月18日。丸16年が経ちました。この16年で、のべ何百人のがん患者さんやご家族が訪れたのでしょうか。

そんな私も、このサロンに救われた1人。みんな同じ不安や悩みを抱えていることを知り、「独りじゃないんだ・・・」と、励まされました。

“がん”という病気は孤独に陥りがち。家族に話しても理解してもらえない心の中や副作用や痛みがあります。友人にはもっとわかってはもらえない。もちろん、「わかってほしい」という思いで話をしているわけではありません。「ただ、誰かに聞いてほしい」、そんな気持ちがあります。

そこにアドバイスは要らないんです。ただ、「うん、うん。そうなんだ」と聞いてもらえるだけで心が軽くなる。がん患者のわがままかもしれませんが、「頑張って」の言葉より、「前向きにね」という励ましより、ただ聞いてもらいたい。

中には過剰な心配をしてくれる人もいます。離れていく人も。でも私たちは“普通に”接してもらいたい。これまで通りに（といっても、やはり難しいのでしょうか）。

がんサロンはそんな遠慮を超えて、なんでも話せる場所。蔑視もなければ、誰も否定はしません。

ここは医師でも治せない、『“がん”という心の診療所』のように感じています。

今月から17年目。これからも不安を抱えているがん患者や家族のための癒しの場所となりますように。

（北海道／女性／乳がん／がん患者本人）